

# 道路交通量調査の活用により、安全で快適な道路へ - 道路交通センサを用いた渋滞箇所の特定、道路整備計画の立案 -

## 道路交通センサの概要

- ◆ **道路交通センサ**（正式名称「全国道路・街路交通情勢調査」）とは、道路の実態や自動車の利用状況を調べるため、概ね5年ごとに全国一斉で実施される国の調査  
【交通量調査】 【旅行速度調査】 【自動車起終点調査】 等で構成される
- ◆ 得られたデータを、**道路整備や交通安全対策、渋滞緩和などの 計画策定の基礎資料として活用**

具体的な活用方法 ⇒ ・新しい道路をつくるべきかどうかを決めるために役立てる  
・道路の渋滞による環境負荷がわかる

### 【交通量調査】

- ◆ カメラの映像を基に車の台数をカウント
- ◆ 渋滞している場所を把握

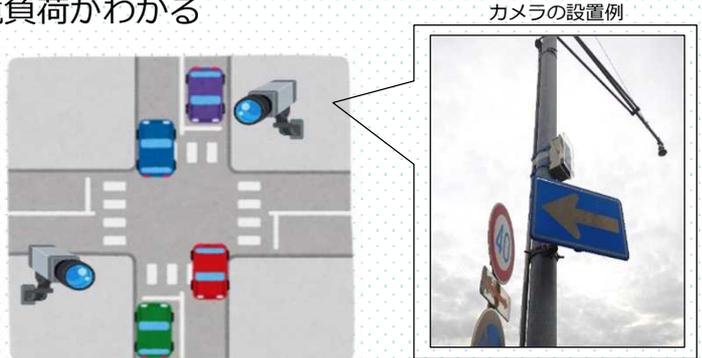
### 【旅行速度調査】

- ※道路を走行する自動車の平均速度を調査
- ◆ GPS搭載カーナビ等を装備した車両で計測
- ◆ 渋滞している場所を把握

### 【自動車起終点調査 (OD調査)】

- ※ODとは、Origin (出発点) とDestination (到達点) の略
- ◆ 車の出発地・経由地・目的地などをアンケート形式で調査
- ◆ 車がどこからどこへ流れているかを把握

■ **調査票がお手元に届いた方は、ご協力をお願いいたします。**

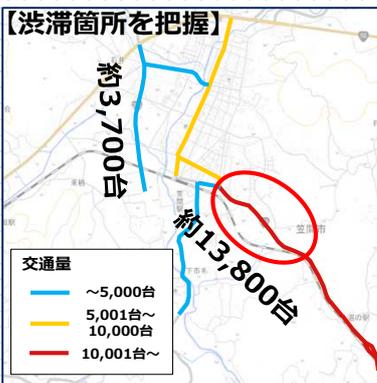


## 調査結果の活用

交通量調査やOD調査等により利用者の動きを把握し、**渋滞箇所と渋滞原因を特定！**

道路拡幅やバイパス整備など最適な改善方針を検討し、**道路整備計画を立案！**

### <具体例>



事業実施

